

EOS Sentry Battery Pack Checker

User Guide and Manual

www.hyperion-world.com



日本語

1.0 内容物

EOS Sentry (コネクタ内蔵) x 1個

2.0 EOS SENTRYについて

Hyperion EOS Sentryは電池パックの状態を知ることができる便利なツールです。RCモデルでよく使用される下記の種類の電池に対応しています。

- LiIon (リチウムイオン)
- LiPo (リチウムポリマー)
- LiFe (リチウムフェライト)
- NiCd (ニッカド)
- NiMH (ニッケル水素)

リチウム系パック (リポ、リチウムイオン、リフェ) 用は2Sから7Sまで、ニッカド、ニッケル水素電池は4セルから7セルまでサポートします。

EOS Sentryにはバッテリーは内蔵されていません。接続した電池パックからパワーが供給される仕組みになっています。

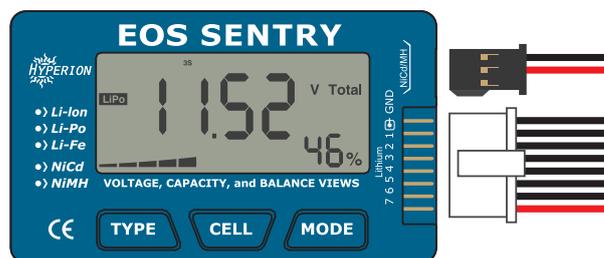
2種類のコネクタのいずれかひとつに電池パックを接続すると、EOS Sentryはパック全体の電圧を数字で、推定残容量をパーセントとバーグラフで表示します。

3.0 電池パックの接続方法

EOS Sentryには電池パックを接続するコネクタが2箇所あります。

リチウム系パック用は8ピンコネクタの方です。RC用途のほとんどのバランスコネクタを直接接続できるようになっています。いくつか例外もありますのでセクション6.0をご覧ください。バランスコネクタのマイナスワイヤをGNDと書かれたピンに接続します。バランスコネクタのマイナスワイヤは赤ワイヤの反対側です。

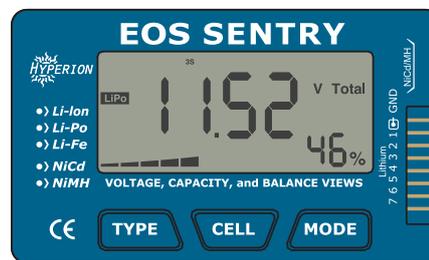
ニッカド、ニッケル水素パック用は3ピンコネクタの方です。ほとんどのサーボと同様、2つのピンを使用します。マイナスワイヤを一番上のピンに接続します。中央のピンはプラスワイヤ一用です。



EOS Sentryへの接続方法。ニッカド、ニッケル水素パックは3ピンコネクタに、リポ、リチウムイオン、リフェパックは8ピンコネクタに接続。

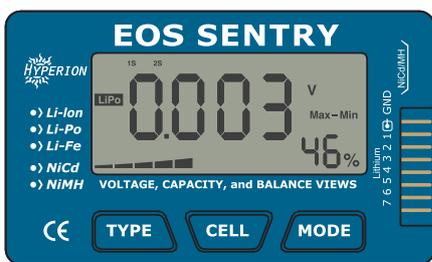
4.0 リチウム系電池パックでの使用方法

リチウム系パックを8ピンコネクタに接続するだけで使用でき、MODEボタンで表示内容を変えることができます。

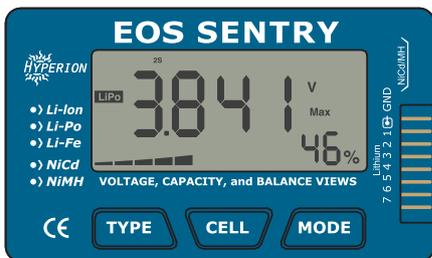


電池パックを接続すると、まず最初に電池パック全体の電圧と推定残容量が表示されます。

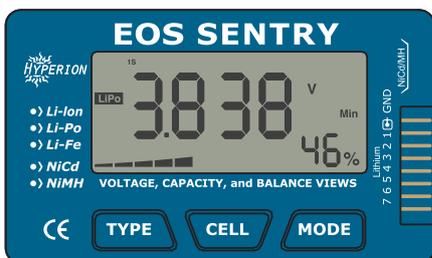
画面左側に接続している電池パックの種類が表示されます。どの種類でもパックの電圧表示は変わりませんが、電池の種類によって公称電圧が異なりますので、残容量の推定値は違ってきます。接続したものと異なる電池タイプが表示された場合はTYPEボタンを押して正しいものに変更してください。



MODEボタンを一度押すと、一番高い電圧のセルと一番低い電圧のセルの差を表示します。それぞれのセル番号も画面上部に表示されます。



もう一度MODEボタンを押すと、一番高い電圧のセルの電圧を表示します。そのセル番号も画面上部に表示されます。



MODEボタンを再度押すと、一番低い電圧のセルの電圧を表示します。そのセル番号も画面上部に表示されます。

再度押すと、全体の電圧表示画面に戻ります。全部で4つの表示が繰り返されます。

- 全体電圧と推定残容量の表示
- 最高電圧と最低電圧の差
- 最高電圧セルの状態を表示
- 最低電圧セルの状態を表示

全体の電圧が表示されているとき、CELLボタンを押すと1番セル、もう一度押すと2番セルというように7番セルまでの電圧を順番に表示できます。7番セルの次は全体の電圧表示に戻ります。

5.0 ニッケル、ニッカド電池パックでの使用方法

ニッケル、ニッカド電池パックの場合、リチウム系電池パックほど詳しい情報は提供されません。パック全体の電圧と推定残容量のみ表示されます。

ニッカド、ニッケル水素パック用の3ピンコネクタに接続し、CELLボタンを押して4Sから7Sまで(4.8V、6.0V、7.2V、8.4V)セル数を設定してください。

6.0 バランスコネクタについて

EOS Sentryの8ピンコネクタ間は2.54mm間隔となっています。電子用コネクタでは一般的なサイズですが、電池メーカーによっては違うサイズを採用しているケースもあり、その場合、電池パックをEOS Sentryに直接接続することはできません。

6.1 サンダーパワー/フライトパワー用バランスコネクタの接続方法

サンダーパワー/フライトパワー用コネクタの間隔は2.54mmよりも狭くなっています。この場合にはアダプターが必要となります。Hyperionから発売されているアダプターボード (HP-EOSLBA-7UFP-B) とケーブル (HP-EOSLBA-7UCBL) を使ってEOS Sentryに接続してください。このアダプターボードとケーブルはHyperion EOS充電器7Sシリーズに付属しているものと同一です。お持ちであれば別途購入の必要はありません。

6.2 スプリットパックの接続方法

マルチバランスコネクタが付いたスプリットパックを接続する場合、一度にひとつのバランスコネクタしか接続できません。8S以上のスプリットパックはこの方法のみとなりますが、Hyperion 6S、7Sスプリットパックの場合、パックの短いワイヤー (Series) のプラスとマイナスをつなぎ、付属のYハーネスを使って、一度に全部のセルをチェックすることが可能です。

7.0 電池パックのケア

リポパックの最高のパフォーマンスと長寿命のために次のことを守ってください。

- 充放電、保管の際は電池メーカーのガイドラインに従うこと。
- リポパックを80%以上放電させないこと (= 残容量が20%以下になるようにしないこと)
- 充電や保管のための準備には高品質のバランス充電器を使用すること。
- 電池パックは十分に気をつけて取り扱い、落下、水濡れなどのダメージを避けること。

詳しい情報は www.hyperion-world.com/batteries をご覧ください。

8.0 HYPERION EOS 充電器

Hyperion はリポ、リチウムイオン、リフェ、ニッカド、ニッケル水素、鉛電池の充放電用に高品質な充電器を製造しています。EOSシリーズは、4Sまでのものから14Sまでのものまで幅広いラインアップとなっています。14S対応充電器ではネットワーク充電によって28S/1100Wまでのバランス充電を可能にします。

全ての Hyperion EOS 充電器は balanser 内蔵です。リチウム電池パックの最高のパフォーマンスと長寿命に役立ちます。

9.0 情報とサポート

Hyperion製品に関するお問い合わせとサポート等については次をご覧ください。

www.hyperion-world.com